

## 結 果 の 要 約

- 1 岡山県の15歳以上人口1,674,372人の労働力状態をみると、労働力人口(就業者及び完全失業者)は984,524人で、前回調査の平成12年に比べ14,257人、1.4%減少している。男女別にみると、男性は565,694人、女性は418,830人で、平成12年に比べ男性は2.3%、女性は0.2%それぞれ減少している。  
労働力率( )は60.1%で、平成12年に比べ0.6ポイント低下している。また、男性の労働力率は73.4%、女性の労働力率は48.3%で、平成12年に比べ男性は1.0ポイント、女性は0.1ポイントそれぞれ低下している。  
( )15歳以上人口に占める労働力人口の割合。労働力状態「不詳」を除く。
- 2 就業者数は932,588人で、平成12年に比べ22,919人、2.4%減少している。男女別にみると、男性は531,133人、女性は401,455人で、平成12年に比べ男性は3.6%、女性は0.8%それぞれ減少している。また、65歳以上の就業者数は96,152人(就業者数の10.3%)で、平成12年に比べ3.3%増加している。
- 3 就業者数を従業上の地位別にみると、雇用者(「役員」を含む。)は775,750人(就業者数の83.2%)、自営業主(「家庭内職者」を含む。)は110,417人(同11.8%)、家族従業者は46,308人(同5.0%)となっている。これを平成12年の割合と比べると、雇用者は1.1ポイント上昇、自営業主は0.6ポイント低下、家族従業者は0.5ポイント低下している。
- 4 就業者数を産業大分類別にみると、「製造業」が185,084人(就業者数の19.8%)と最も多く、次いで「卸売・小売業」が161,545人(同17.3%)、「サービス業(他に分類されないもの)」が111,380人(同11.9%)、「医療、福祉」が94,418人(同10.1%)、「建設業」が86,856人(同9.3%)などとなっている。
- 5 就業者の平均週間就業時間は41.1時間で、従業上の地位別にみると、雇用者のうち常雇と臨時雇は、それぞれ43.9時間、28.9時間、役員は44.6時間、雇人のある業主は47.5時間、雇人のない業主は36.3時間となっている。
- 6 夫婦の労働力状態をみると、夫と妻ともに就業者である世帯は212,462世帯(夫婦のいる一般世帯451,342世帯の47.1%)で、平成12年に比べ6,229世帯、2.8%減少している。さらに、子供がいて夫と妻ともに就業者である世帯は149,113世帯(同33.0%)で、平成12年に比べ6,182世帯、4.0%減少している。
- 7 県内に在住する外国人就業者数は8,657人で、平成12年に比べ1,765人、25.6%増加している。

図1 岡山県の労働力人口の年齢構成（平成12年，17年）

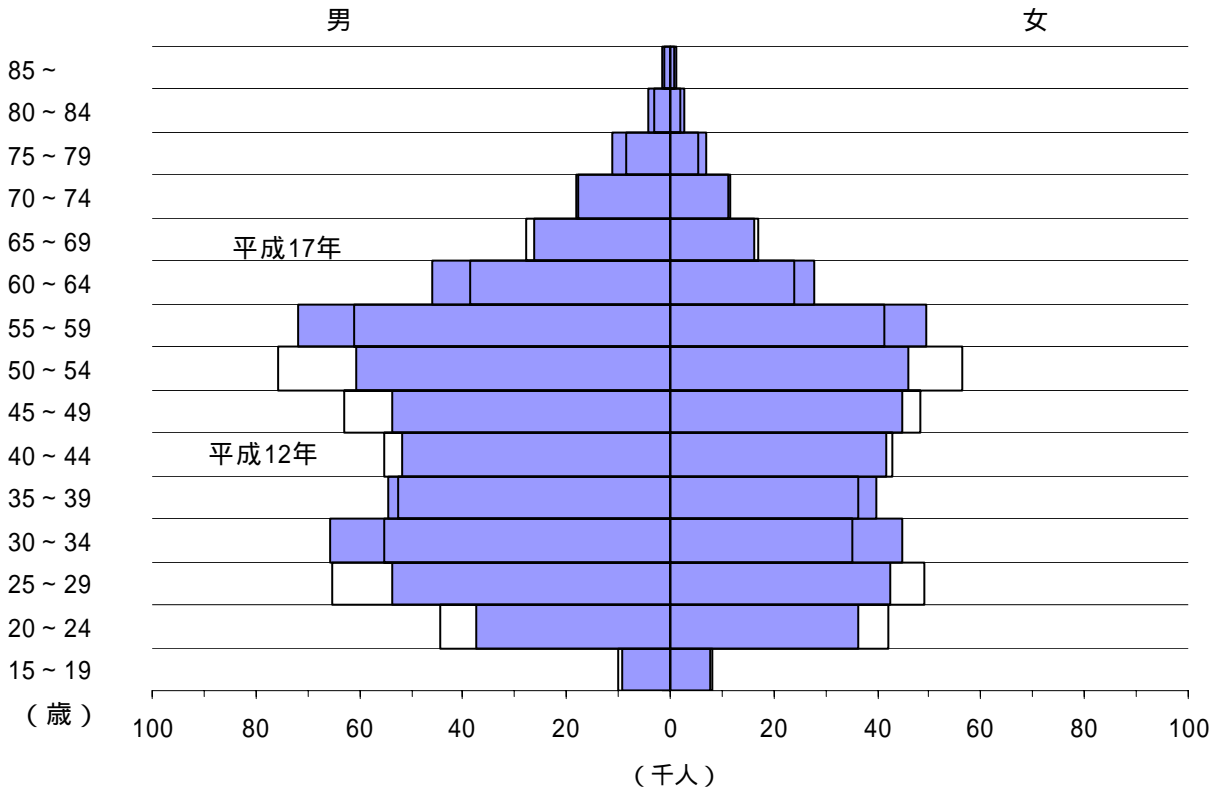
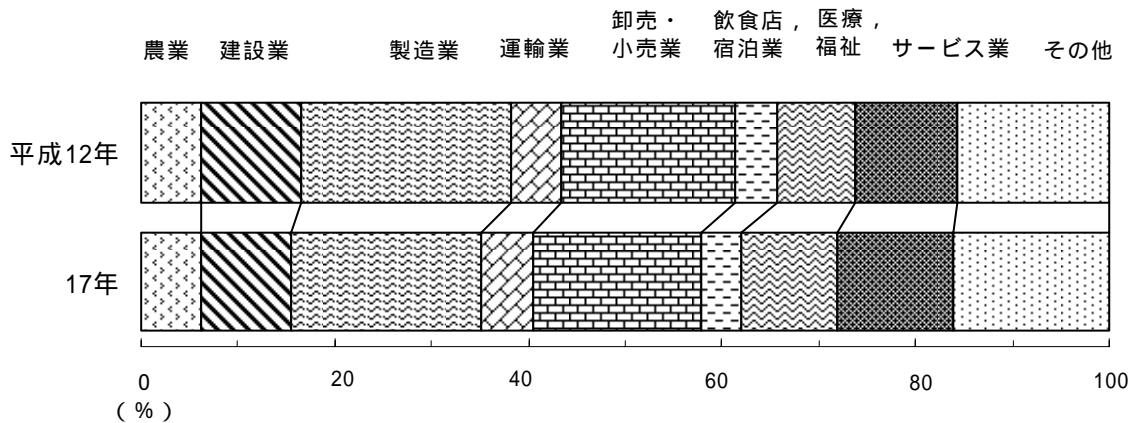


図2 岡山県の産業（大分類）別15歳以上就業者の割合の推移（平成12年，17年）



(注1) 「その他」に含まれるのは、「林業」、「漁業」、「鉱業」、「電気・ガス・熱供給・水道業」、「情報通信業」、「金融・保険業」、「不動産業」、「教育、学習支援業」、「複合サービス事業」、「公務（他に分類されないもの）」及び「分類不能の産業」である。

(注2) 平成12年は、日本標準産業分類第11回改訂(平成14年3月)に伴う組替集計結果による。